

冬休みも終わり、放課後まなび教室に子どもたちの明るい声が戻ってまいりました。

引き続き、主な行事や各校の取組状況を報告していきます。今号は2ページ編集です。

## 放課後まなび教室テーマ別研修会を開催（5テーマに381名参加）

標記の研修会を「今どきの子どもの接し方」「算数科で大切にしたいこと」「子どもたちが喜ぶ手作り体験」など、5つのテーマを設定して11月に実施し、延べ381名の方々に参加いただきました。

### 子どもたちが喜ぶ手作り体験（11/8, 14）

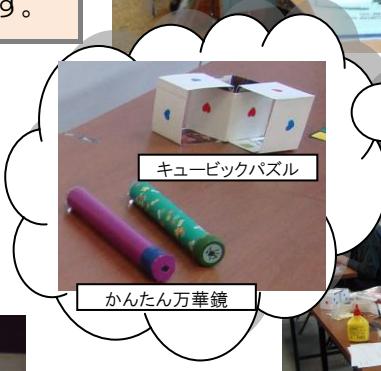
本研修では、ビー玉を使った「かんたん万華鏡」（九条弘道小学校）と牛乳パックでつくる「キューピックパズル」（安井小学校）の製作を実際に体験してもらいました。また、当日は、各校オリジナルの手作りグッズの展示もあり、発表校も含めて参加者が熱心に情報交換をされていました。研修後に早速自校で実践したという報告も多数いただいております。



11/14 総合教育センター



お金が消える



かんたん万華鏡

(展示による実践発表から)

- 牛乳パックペン立て  
(大将軍小学校)(上)
- お金が消えるマジックボックス(伏見板橋小学校)(右上)
- 折紙キューブパズル  
(大枝小学校)(右)



11/8 下京区役所

### 安朱小学校「伝統文化親子教室」(山科区)

12月7日、文化庁、学校、放課後まなび教室、学童クラブの連携事業として、「四ノ宮琵琶の弾き語りと郷土の紙芝居」をテーマにした教室が同校体育館で開催。弦楽ふるさとの会代表の小谷昌代さんを講師に迎え、琵琶演奏と紙芝居を披露していただきました。

教職員との合同演奏や、児童の琵琶体験などもあり、子どもたちは、「木の楽器の温もりを感じた」「様々な音色が出るので驚いた」と、実際に琵琶にふれた感想を話し合っていました。

参加した地域の方も、「子どもは楽しみながらも、自分たちの住んでいる山科地域の歴史の深さを感じてくれてうれしい」と、取組を振り返っておられました。



教員と合同演奏する講師の小谷氏(左)

# 文部科学大臣表彰を受賞！九条弘道小学校放課後まなび教室

優れた「地域による学校支援活動」として、九条弘道小学校放課後まなび教室(南区)が表彰されました。

(本市は他に西陣中央小学校学校運営協議会も受賞)

同校は、スタッフの方々の特技を生かし、曜日によってテーマ別学習（月曜英語、火曜珠算、水曜手芸、木曜書道、金曜読書）を実施されるとともに、学校をはじめ、隣接する学童クラブと連携した取組を実践されています。実行委員会をはじめ、関係者の皆様、誠におめでとうございます。



## 百々小学校（山科区）

山科中学校のお姉さん・お兄さんが放課後まなび教室に来室し、クリスマスプレゼントとして、心のこもった紙芝居・読み聞かせ、合唱を披露してくれました。（12月19日）



## 室町小学校（上京区）

児童館との連携事業として2回シリーズで「クリスマスリースづくり」を実施し、スタッフとともに、玄関前ホールで作品の飾り付けをしました。（12月1日）



## 川岡東小学校（西京区）

放課後まなび教室リーディング校として研究を進めている同校。宿題を済ませた児童は、タブレット型パソコンを活用し、国語や算数の問題に意欲的に挑戦していました。（12月13日）



## 音羽川小学校（山科区）

地域の方々の協力のもと、児童館との連携事業として、冬休みに「かきぞめのつどい」が同校体育館で実施され、70名の児童が書初めに挑戦しました。（1月5日）



## 編集後記

日々の皆様の実践は全市共通の財産です。今後多くの教室に取材に行き、情報発信していきます。ご意見、ご感想、特集して欲しい内容など、皆様の「声」を気軽にお寄せください。

発行 京都市子ども若者はぐくみ局 子ども若者未来部 育成推進課 電話 (075)746-7610

